

平成30年度 栃木市広島平和記念式典中学生派遣報告会（H30.8.24）

「広島への思い・平和記念資料館の見学」 B班

・広島を訪れることへの抱負 黒子虎琉（栃木西）

僕は広島派遣平和大使として、次のことを抱負としました。

一つ目は私達が戦争や原爆のことを学ぶことです。二度と繰り返してはいけない過去の歴史を見て、聞いて、感じて一つでも多くのことを学ぶことで平和な世界へとつながると思っただからです。

二つ目に、学んだことを一つでも多く、一人でも多くの人に伝えることです。戦争や原爆の悲惨さを多くの人に知ってもらうことで改めて平和な世界とは何か考えられると思うからです。また、被爆した方々の思いを伝えるのも、私達の使命だと感じています。

この二つのことを抱負として三日間の活動に取り組みました。

・広島平和記念資料館について 高久夢叶（吹上）

1945年、昭和20年の8月6日午前8時15分、広島は世界で初めて原子爆弾による被害を受けました。その一発の原子爆弾は、無差別に多くの人の命を奪い、かろうじて生き残った人々の心身に大きな苦痛を与えました。

広島平和記念資料館は、国指定の重要文化財になっています。建物は三階建てで、本館と東館に分かれています。しかし私達は、本館が工事をしていたため、東館を見学しました。この資料館は、被爆者の遺品や被爆の惨状を示す写真や資料を収集・展示しています。被爆死した三人の中学生が着ていた制服を組み合わせた三位一体の遺品、錆びた三輪車、原爆投下時刻の8時15分で止まった時計、血まみれのワンピース、原爆から放出された熱線で溶けたガラス瓶や釣燈籠、黒焦げの弁当箱、原爆投下後に広島に降った黒い雨のあとが残った白壁、被爆者の痛々しい写真など、資料の一つ一つが、原爆によって生み出された人々の苦しみ悲しみを訴えていました。

・見学して心に残ったこと① 栃木勇斗（藤岡第二）

広島平和記念資料館を見学して心に残ったことは原爆の恐ろしさです。広島に原爆が落とされ、多くの人が亡くなったり、生き残っても放射線を浴び、後遺障害になってしまったりしました。また、爆風による被害で建物が押しつぶされ、市内の全域におよび、建物の90%以上が破壊、または焼失してしまいました。その他にも熱線や高熱火災による被害も大きく、着物の柄が皮膚に焼きついた女性や焼け焦げた電車の写真を見ましたが、とても心が痛みました。この見学で色々なことを学ぶことが出来ました。

・見学して心に残ったこと② 堀江真央（大平）

僕は、平和記念資料館を見て来て原爆の恐ろしさと悲惨さが心に残りました。写真で見ると、悲慘さが伝わってきて悲しみが込み上げてきました。また、今も放射線の影響で苦しんでいる人がいて、本当に恐ろしいと思いました。それと、この影響がたった一発だということに驚きと恐ろしさでいっぱいになりました。この出来事を全国、そして世界に広め、核の無い平和な世界にしたいです。

・見学して心に残ったこと③ 岡本渚（岩舟）

戦後73年がたち、被爆者の平均年齢も80歳を超え、広島原爆投下から長い時がたちました。しかし私は、この広島平和記念資料館を見学し、「忘れてはいけない」と強く感じました。跡形もなく焼き尽くされたまち、全身にひどい火傷を負っている人、壁に人の影が焼き付いている写真。どれも、見ているだけで胸が苦しくなるような写真ばかりでした。この写真を撮った人は、目の前で苦しんでいる人達をどのような気持ちで撮っていたのかと思いました。私なら、自分の非力さに嫌気がさしていると思います。でも、それだけでは、次世代に何も残す事ができません。そのために、多くの写真を撮り、今このようにして展示しているのだと思います。広島に原爆が投下され、多くの人々が、戦後73年たった今も心を苦しめています。絶対に忘れてはいけない事だと改めて感じました。そのために、今私達が原爆の恐ろしさ、平和の大切さを伝えていく必要があります。私は、この経験を経て、感じた事、学んだ事を伝えていく使命を果たしていきたいです。

・見学して学んだこと 吉村愛実（東陽）

私が、平和記念資料館を見学して、学んだことは、原子爆弾の力は本当にすさまじいものだということです。何の罪もない広島市民のたくさんの命が一瞬にしてなくなってしまうくらい恐ろしい原子爆弾が広島に落とされたのです。

たった一発の原子爆弾が多くの人の命を奪い、たとえ生き残ったとしても、その人の人生を変えてしまいました。爆風で倒壊した建物、熱線の影響で焼けた建物や、大火傷を負い、体の皮膚が腫れ上がってしまった人、放射線の影響で数日後に原爆症になってしまったり、ケロイドや白内障などの後遺症になってしまった人。たくさんの被害が投下されたときから長年に渡って出ました。

私は、この見学を通して、広島・長崎に投下された、原子爆弾という悲劇を、戦争という悲劇を二度と繰り返してはならないことを資料から学びました。これからの時代を作っていく私たちがここで学んだことを伝え、生かし、平和な世の中を作っていきたいと思います。